



堀 譲 議員

YUZURU HORII



コロナ感染減少時での各政策について

観光政策のあり方について

問 観光政策はイベント開催だけでなく、地域住民が主役となつて、観光資源を活用し、地域産業のうるおいに貢献できるものでなくてはならない。市の観光政策の理念はどのようなものなのか。

答 市内各地域で、市民団体が主体となつて、地域の特色を生かしたイベントも開催されている。観光政策は、基本構想で「にぎわいづくりへの挑戦」を基本目標にし、本市の特色を生かした観光資源を活用し、市民がまちに誇りと愛着を持てるまちづくりの推進に努めており、地域団体との持続可能な観光地域づくりに取り組んでいく。

学童保育について

問 夏休み等の長期休暇中の昼食の提供について、「こども家庭庁」より検討を求める通知が

出された。また、職員不足も全国では起きている。学童保育の充実を考えるうえで、昼食の提供、支援員の確保について、どのように考えているのか。

答 給食センターを活用した昼食の提供については、施設のメンテナンスの期間、調理員、配達員等の職員配置の問題等があり、昼食提供は困難である。業者による提供等を調査・研究していく。また、支援員の確保は、年度当初に必要な人数を配置しているが、年度途中での退職については、「在宅支援員等の登録制度」により対応している。

生活保護について

問 貧困や病気は個人の責任ではない。生活苦から国民の生活を守るのは国の責任である。コロナ禍や物価高騰で貧困世帯が増えている。生活困窮世帯への対応はどのようになっているのか。

答 生活状況や家庭状況を把握し、事情や心情を汲み取りながら相談を受けている。複雑な課題を抱えた世帯には、関係部署や関係機関と連携し、解決の手立てを探りながら、細やかな対応に努めている。

Q&A

自転車乗車用ヘルメット着用について・子育て支援策について



宗實 雅典 議員

MASANORI MUNEZANE



自転車乗車用ヘルメット着用について

本年4月1日に道路交通法の一部が改正され自転車を利用する全ての方に、自転車乗車用ヘルメットの着用が努力義務化された。

問 ヘルメット着用についてどのような周知・啓発活動を行っているのか。

答 市広報誌やホームページ、たつの市公式ラインやたつの防災防犯ネット、交通安全のメニューを新たに加えた市の出前講座や、小中学生を対象とした交通安全教室、JR本竜野駅前で啓発チラシやヘルメットの見本を活用した啓発キャンペーンを行っている。

問 中学生に配付しているヘルメットを、卒業後も使用できる物にできないのか。

答 通学や部活動など3年間

の中学校生活に必要なものとして、全ての中学生にSGマークの認証を受けたヘルメットを支給している。卒業後も使用するかどうかについては、本人の意思によるところが大きいため、現在支給しているヘルメットを今後とも支給していく。

こども園における食について

問 園児が家庭から持参している主食の衛生上の管理はどのようにしているのか。

答 暑くなる季節において、常時エアコンで室温を低くしている職員室等で保管している。

問 学校給食センターから主食を提供できないのか。

答 学校給食センターの調理能力、配達ルートや配送車の確保、それに伴う人材の確保など様々な課題があり、主食の提供を実施することは困難である。今後、子育て支援の観点から、その方法を含めて検討する。

その他の質問事項

●ヘルメット購入を普及促進させるための有効な手段の一つとして、補助は考えられないか。